

川崎医科大学附属病院 がんセンターNEWS

Vol.5 2010 秋号 



関谷学校櫓の木：撮影 園尾 博司

- 血液内科のご紹介
- 第4回 Oncology Seminarレポート
- オンコロジーナース養成研修について
- 緩和ケアフォーラム

インフォメーション

- がんセンター活動予定
- オープンカンファレンスのご案内



血液内科のご紹介

血液内科は、欧米ではhematology/oncology 称せられるように癌治療と密接に関わりがん化学療法のプロと目されています。当科においても白血病、悪性リンパ腫、多発骨髄腫などの造血器悪性腫瘍の診療に当たっています。血液内科における治療の特徴として、ひとつの疾患に対しても化学療法、放射線療法、細胞療法などの多くの治療のオプションを有していることが挙げられます。当科では化学療法、放射線療法、細胞療法を総合した造血細胞移植療法も行っており、今年まで同種移植のみで70例を超える症例を経験しております。造血器悪性腫瘍の治療の進歩は、日進月歩で移植療法がすべての難治症例にとって必ずしもベストな選択ではなくなって来ています。当科では個々の患者さんの社会的背景も勘案した上で、最適な治療を提供することを常に心がけています。



現在、教職員は12名、おかげさまで4名の新しい仲間を4月から迎え若々しい雰囲気の中で診療をしております。しかし、全国的には血液内科医は不足していることは否めず比較的充足していると考えられている岡山・倉敷地区でも近隣地区からの患者さんの流入に伴い相対的な不足状態にあります。造血器悪性腫瘍の診療に当たっては多くの診療科との密接な協力関係が必要であり、今後は院内に限らず、地域貢献と言う意味でも院外との連携についてもより一層努力していく所存です。今後ともよろしくお願ひします。

第4回

Oncology Seminar レポート

オンコロジーセミナーワーキンググループ
9階西病棟看護師長 平松 貴子

2010年9月11日(土)13時30分より川崎医科大学702号教室において、川崎医科大学附属病院がんセンターおよび中国・四国広域がんプロ養成プログラム インテンシブ生涯教育コース共催による第4回 Oncology Seminarが開催された。テーマは、「がんの診断学」「がんのインフォームド・コンセント」の2題であり、講演は1. 「病理診断」鹿股直樹准教授(川崎医大附属病院病理部 副部長) 2. 「画像診断」伊東克能教授(川崎医科大学附属病院放射線科画像診断部 部長) 3. 「ICを支える看護師として知っておいてほしいこと」中田昌男教授(川崎医科大学附属病院呼吸器外科 部長)の3講演であった。

Oncology Seminarは、主に看護師およびコ・メディカルを対象に、がん看護の実践につながる講演を中心に、1年に2回定期的で開催している。第4回も院内外からがん看護を実践していく上で理解しておくべき基礎的知識を学習するために104名の参加があった。特に診断学では、TNM分類の詳細や効果的で効率のよい検査の選択について、インフォームド・コンセントでは、正しいICのあり方から日本人の死生観について、奥深くケースを盛り込みながらの講演となり、アンケート内容より参加者にとって有意義な時間となったことがうかがえた。

第5回 Oncology Seminarは2011年3月26日(土)13:30より、がん患者の栄養、がん患者のリハビリテーションをテーマに開催予定である。



川崎医科大学附属病院 オンコロジーナース養成研修 について

オンコロジーナース養成研修プロジェクト委員
9階西病棟看護師 水川 真理子

看護部では、平成22年11月より1年6か月コースで、がん看護の専門教育プログラム「院内オンコロジーナース養成研修」を開講することとなった。がんはわが国の死亡率の第一位の疾患であり、平成19年度には「がん対策基本法」が施行された。当院においては地域がん診療連携拠点病院として、中国・四国地区においてがん専門医療人を輩出する役割を担っている。これらの背景から、がん患者に対し専門的なケアのできる看護師を養成することが課題であり急務であると考えた。1期生として、5年以上の臨床経験を有し、がん看護の専門的知識を深めることを希望する看護師8名の受講が決まり、18か月間の研修プログラムが始動することとなった。教育目標はがん患者とその家族の擁護者として、その思いに寄り添い、治療や意思決定のサポートから苦痛緩和の援助まで行える看護師を育成することである。教育内容は、がんの病態生理、治療法、精神面の援助のためのサイコオンコロジー、緩和ケアでは痛みのコントロールから、症状を和らげるマッサージ、リラクゼーション、アロマセラピー等の代替医療も含んだ講義を予定している。また、ソーシャルワーカー、薬剤師、栄養士の役割についても学習し、チームとして患者に様々なサービスを提供できるように連携を図り、看護理論、医療倫理学にて豊かな看護観を育み、看護師としてだけでなく、人間的にも成長できる内容を網羅した。

今後、院内でリーダーシップを発揮し、多くの看護師の役割モデルとなれるような人材が、がん患者とその家族により質の高い看護を提供できることを目指していきたいと考えている。

緩和ケアフォーラム in 岡山

岡山南西地区およびその周辺地区における緩和ケアの強化・充実、在宅ケアの活性化に向けた情報交換、切れ目のない連携パスの完成と実践を目的とした研究会です。年4回の勉強会・講演会を開催、メーリングリストでの情報交換を行っております。研究会に参加ご希望の際は右記までご連絡をお願いいたします。

緩和ケアフォーラムin岡山

代表世話人 川崎医科大学附属病院
消化器外科部長 平井 敏弘

事務局 川崎医科大学 臨床腫瘍学教室
kasco@med.kawasaki-m.ac.jp

メーリングリストご加入の際は上記にメールをお願いします。

がんセンター活動予定

第8回市民公開講座 みんなでつくろう、地域で支えよう、がん患者さんの支援の輪 ～がん「患者必携」岡山の取り組みに向けて～

日時：平成23年1月15日(土) 13:30～16:00 場所：川崎医科大学 現代医学教育博物館2階大講堂

I. 基調講演 地域社会でのがん患者支援

「みんなでつくる、地域で支える、がん患者さんの支援の輪を広げるために」

国立がん研究センターがん対策情報センター 近藤 清高 先生
(厚生労働省研究班 研究代表者)

II. パネルディスカッション

1. 岡山県のがん対策

岡山県医療推進課 副参事 前原 幹子 先生

2. 地域一体型緩和ケアネットワークの確立に向けて

緩和ケアフォーラムin岡山
倉敷第一病院 診療部長 竹内 隆三 先生

3. がんサロンと地域連携パス

川崎医科大学附属病院 呼吸器外科 部長 中田 昌男 先生

4. がん患者からのメッセージ

～がんになっても安心して暮らせる街をめざして～
NPO法人愛媛のがんサポートおれんじの会 理事長 松本 陽子 先生

III. 総合討論

第8回 Cancer Seminar (医療関係者向け)

日時：平成23年3月19日(土) 13:30～16:00
場所：川崎医科大学 現代医学教育博物館2階大講堂

第5回 Oncology Seminar (看護・メディカル向け)

日時：平成23年3月26日(土) 13:30～16:00
場所：川崎医科大学 7階 M702教室

オープンカンファレンスのご案内

下記のカンファレンスを行っています。
参加ご希望の際は地域医療連携室までご連絡をお願いします。

呼吸器カンファレンス

呼吸器内科・呼吸器外科・放射線科(診断・核医学)各間で「呼吸器×線カンファレンス」を行っています。院外の先生方もどうぞご参加ください。気になる症例がありましたらレントゲンをお持ちいただいても結構です。

日時 第2・4月曜日 18:00～19:00
場所 9階中病棟 第2カンファレンス室

大腸癌化学療法カンファレンス

外科・内科・臨床腫瘍科・放射線科の医師・看護師・薬剤師など多職種からなる医療チームで、外来大腸癌性腫瘍に対する治療方針(化学・放射線療法プロトコール・手術介入など)の決定についてのカンファレンスを行います。院外の先生方や医療スタッフの皆さまもどうぞご参加ください。

日時 第1・3金曜日 17:30～19:00
場所 本館10階 通院治療センター

緩和ケアカンファレンス

毎週木曜日13:15から14階西カンファレンス室で緩和ケアチームのカンファレンスを行っています。

Case Conference

各診療科から症例を提示し、その診断と治療およびケアについて複数の診療科で、また医師・看護師のみならず広くメディカルも参加して横断的かつ総合的に討論し勉強する症例検討会です。

日時 第2木曜日 18:00～19:00
場所 川崎医科大学 校舎棟M703号教室

Nutrition Support Team(NST)カンファレンス

毎週火曜日12:45から14階南カンファレンス室でNSTミーティングと勉強会を約1時間行っています。どなたでも参加可能です。



川崎医科大学附属病院

〒701-0192 岡山県倉敷市松島577
TEL 086-462-1111(代表)
<http://www.kawasaki-m.ac.jp/hospital/>

紹介患者さま受診予約窓口

■地域医療連携室

TEL (086) 462-1111 (内線22611)
FAX (086) 464-1166
E-mail renkei@med.kawasaki-m.ac.jp